

15 EUR 300%

07-11 14  
A97-L 52

合計 200% (10.0)

11-20-11  
A/C 747

8/14 10  
8/17 10

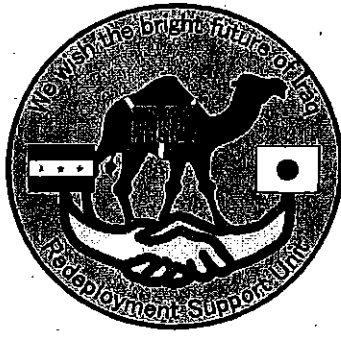


送付 2100g  
送付 2100g



# イラク後送業務隊の活動報告

A/C  
2007年11月24日  
手紙



8/28 国連本部 (12-0-7) に  
メールを送る (12/16 16:00)  
12/16 16:00 国連本部 確認  
手紙

→ 送付  
由 国連本部  
P8U 10/17  
→ 送付

18. 8. 23  
イラク後送業務隊

## イラク後送業務隊活動報告 (8月23日)

### 1. 人員・装備の状況

○ 人員・装備：異状なし

### 2. 23日(水曜日)の活動

区分	業務内容
後送業務	コンテナ作成 <del>4個コンテナ作成</del> (車両×1、通信×2、厚生×1)
	洗車 洗車終了
	本邦後送 ○シュワイク港から専用船による車両40両の後送 本邦後送車両40両の専用船への船積み ○シュワイバ港からコンテナ船によるコンテナ113本(実86、空27)の後送 (8月26日予定) シュワイバ港へコンテナ46本の搬入
	その他 ○10次群長から補統への物品の異動に伴う証書の作成 ○不用品の役務業者への引き渡し及び監督・検査
その他	ORSU部隊隊貨の整理 ○別紙第1「RSU活動状況(8月23日)」

**KWからの装備品等の後送状況把握 (全体像)**

**コンテナ**

KWから本邦へ後送するコンテナ総数【581本】			
コンテナ詰め数【286本】		空数【295本】	
終了【286本】 (100%)			
後送済 【136本】		後送済 【60本】	

**車両**

KWから本邦へ後送する車両総数【224両】	
洗車終了【224両】 (100%)	
後送済 【132両】	

統幕用

**後送業務の進捗状況**

区分		進捗状況		評価	備考
コンテナ	開梱 (コンテナ数)	100%		終了	
	コンテナ詰め (点数)	100%		終了	コンテナ数 100%
	後送 (点数)	47%		順調	コンテナ数 47.6%
車両	洗浄	100%		終了	
	後送	58.9%		順調	

統幕・陸幕用

3 後送業務の進捗状況

8月23日末現在

区分	計画		実績 (c)	進捗度		残数	備考
	総数 (a)	当該日迄 (b)		総数比 (c/a)	計画比 (c/b)		
コンテナ	開梱 (コンテナ数)	337	—	337 [0]	100%	—	0
	コンテナ詰 (点数)	99,464	—	99,464 [4,004]	100%	—	0
	後送 (点数)		46,748	46,748 [0]	47%	100%	52,716
車両	洗浄	224	—	224 [0]	100%	—	0
	後送		132	132 [40]	58.9%	100%	92

※ 点数については、弾薬を除いた点数  
【 】内は当日の実績で内数

4 24日(木曜日)の活動予定

区分	業務内容					
コンテナ作成	8月23日をもって終了					
洗車	8月21日をもって終了					
後送業務		時期	手段	発地	後送品	状況等
	1	8月26日	コンテナ船	シュワイバ港	コンテナ×113本 (実86、空27)	22日:40本搬入済み 23日:46本搬入済み
	2	9月5日	チャーター船	シュワイク港	コンテナ×168本 (実73、空95) 車両×85	搬入待ち (通関書類等準備中)
	3	9月5日	チャーター機 (アントノフ)	ムバラク空港	WAPC×7	搬入待ち (通関書類等準備中)
その他	○10次群長から補統への物品の異動に伴う証書の作成 ○不用品の役務業者への引き渡し及び監督・検査 ○ <span style="background-color: black; color: black;">          </span> 倉庫及びPWC洗浄施設の撤収業務					
その他	○空幕装備調整官対応 ○ORSU部隊隊貨の整理					

5 週間後送計画及び実績

区分	8/19	8/20	8/21	8/22	8/23	8/24	8/25
	土	日	月	火	水	木	金
コンテナ作成	車両×7 施設×6	車両×7 通信×1 →2 需品×2 化学×1	車両×5 火器×2 需品×2 施設×1	<del>車両×5</del> 施設×1 →3	車両×5 →1 通信×2 厚生×1		
	車両×7 施設×6 通信×2	車両×7 通信×2 化学×1	車両×3 火器×2 需品×1 施設×1	施設×3	車両×1 通信×2 厚生×1		
洗車	3	6→3	0→3	1			
	2	4	4				
後送	コンテナ		60				
	トレー						
	車両				40		

※下段には実績を記入

16 日々ミーティング

○ 治安情勢:別紙第2「クウェートの治安状況等(8月23日)」

○ RSU長指導事項

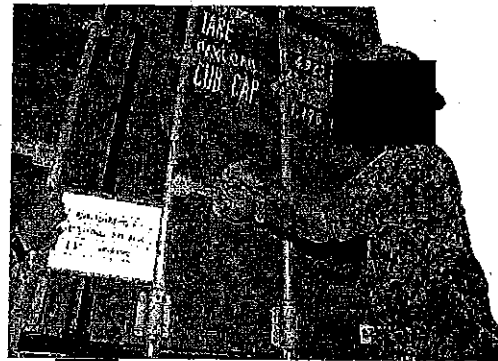
— 今週いっぱいコンテナ詰めや車両の洗浄が終了し、後送準備が完了する見込みとなった。9月5日及び8日でチャーター船・航空機は確保済みなので、我々は今後、港湾等への車両等の搬入・役務監督業務、不用品の処分に伴う役務検査・監督、指揮所等の施設の撤収、個人コンテナ約300個及び武器・弾薬・アーマー等を含む隊貨約300箱の準備等、支援群等が帰国支援を受けて実施していた分を自らで実施しなければならない。

整備日を除くとあと約1週間しかないので、計画的に準備を進めてもらいたい。

**RSU活動状況 (8月23日)**



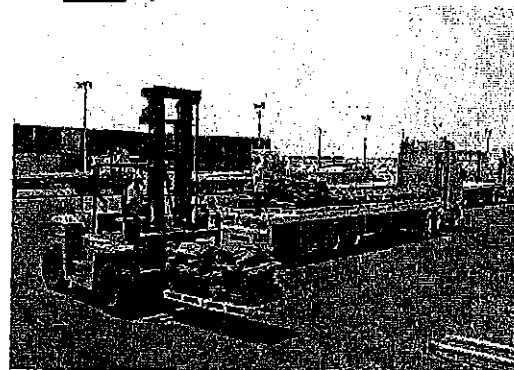
倉庫におけるコンテナ詰め



倉庫における最終コンテナの施錠



倉庫における本邦後送待ち車両



倉庫における処分品の業者への引き渡し

**クウェートの治安状況等 (8月23日)**

区分	内容	備考
クウェートの治安状況等	1 在クウェート日本大使館等 警戒情報 (1) 警戒レベル : ██████████ (2) 日本国外務省渡航安全情報:クウェート全土「十分注意」(N/C)	N/C
	2 クウェート市内外の状況 ████████ 倉庫・RSU宿泊場所等活動地域:異常なし。	N/C
	3 クウェート国内での車両運行に及ぼす影響 交通事故は、ほぼ連日発生している事から車両運行時、特に次の点に注意 (1) R6, R40上の速度超過による追突事故、突発的な歩行者の横断 (2) 前方走行するトラックのバーストによるタイヤの飛来(7月以降は、道路の高温に加え、ほとんどのトラックは再生タイヤ着用のため、タイヤはバーストしやすい状況) (3) ロータリー交差点の進入・進出及び測道から本線への進入時	N/C
	4 宿泊場所及び████████ 倉庫等での活動に及ぼす影響 クウェート全土で反米勢力がテロを敢行する可能性は排除できず、宿泊場所及び████████ 倉庫等への移動間は警戒する必要がある。	N/C
	5 その他 「イラク・クウェート国境付近の銃撃事案について」 「逃走していたテロリストグループの1名の逮捕について(続報)」	8/23追加
気象	1 天気:晴れ 2 活動地域の温度 ██████████ 倉庫外):最高・51℃(前日比±0℃) 最低・42℃(前日比+5℃) 3 今後、晴天が続く。天候の変化はしばらくの間ないと予想。 (アリアルサラム空軍基地 空自 気象班情報)	PWC作業終了のため 8/23確認

イラク・クウェート国境付近での銃撃事案について(1/2)

## 【趣旨】

イラク・クウェート国境付近で銃撃事案が8月21日に発生した件についてクウェートのローカル新聞(Al-Qabas) (8.22及び23付)に掲載されたところ、これを紹介するもの

## 【記事概要】

- 1 クウェートの国境警備員は、アルタリア国境付近で巡察中に**武装した何者かに射撃されて応戦**した。
- 2 クウェート国境警備員に**負傷者はなく、車両が一部被害**を受けたのみ
- 3 事案発生後、国境警備は、直ちにイラク側に本事案が起こった理由について問い合わせを実施した。  
(以上22日付新聞)
- 4 クウェートは、国境での銃撃についてその理由を確認するため**国連に抗議**する予定。
- 5 クウェート外務省は、イラクの代理大使を呼び、今回の銃撃事案の説明を求める予定。
- 6 銃撃の理由に、国境における**密売・密輸関係者のいざこざ**だという話もある。
- 7 関係者によると国境警備局は、現在、**国境の警戒を最高度に強化**している。また銃撃事件及び国境を越えて**侵入した者はおそらく盗賊**との事  
(以上23日付新聞)

イラク・クウェート国境付近での銃撃事案について(2/2)

## 【過去のイラク・クウェート国境付近事案(18年5月23日未明発生)】

- 1 事案の概要 (情報源:新聞記事及び██████████)
  - ア 18年5月23日、クウェート北部のイラク国境において、銃撃戦が発生。クウェート側の**国境警備関係者の誘拐を企てたもの**。
  - イ 銃撃したのは**8人の集団(サドル支持者)**であり、周囲に隠れるためのトンネルを10箇所以上掘っていた。
  - ウ 銃撃の背景としては、クウェートが米軍に**軍事施設や物資を提供しているため**。
- 2 事案の概要 (当局者談)
 

銃撃戦はあったが、実際に**国境を越えてきたのは1名のみ**。クウェート側が応戦するいとまもなく逃亡。サドル派のメンバーという証拠もなく、誘拐を企てた**たのも憶測にすぎない。大きな穴が掘られていたのは事実**。

## 【RSU2科としての現在の対応】

本件について日本大使館を通し、██████████に細部情報収集中

## 【評価】

(結論)

新聞記事のみで信憑性に欠けるものの、**テロの可能性は低い**と思料。

(理由)

- 1 国境警備員に負傷者はなく、車両が一部被害を受けるのみで計画性が認められない。
- 2 散発的にしかこのような銃撃戦が行われていない。

## 逃走していたテロリストグループの1名の逮捕について(続報)

## 【趣旨】

クウェートのローカル新聞(アラビア語)(8.23付)に逃走中のテロリストグループ「半島のライオン」の1名が警察に逮捕された件の続報が掲載されたところ、紹介するもの

## 【記事概要】

- 1 逮捕されたHamad Al-Harbiは偽のIDカード等を使用して**21ヶ月の間逃亡**していた。
- 2 Al-Harbiは今月の終わりに**イラクに潜入する計画**を準備していた。
- 3 Al-Harbiは、他のAl-fadhliやKhalid Al-Dousari(「半島のライオン」の指名手配された2人の指導者)との接触は否定し、**彼らがイラクにいる**としか知らないと語った。(真偽は不明)
- 4 Al-Harbiは、裁判所に送られ、**13年の懲役**に処せられる。

## 【RSU2科としての現在の対応】

- 本件について日本大使館を通し、XXXXXXXXXXに引き続き細部情報収集中。